

**平成26年度「学生」×「地域」の取組事例発表会「ベストプラクティスコンテスト」参加(予定)グループ一覧**

メンバーの所属する学校名	団体名	活動概要(事務局による整理)
1 皇學館大学	子育て支援活動「びよびよ」	保育士や幼稚園教諭、小学校教諭をめざす学生を中心に、①子どもの遊び場として、②保護者の交流・子育て相談の場として、③学生の実践的な学びの場として、皇學館大の保育実習室で、地域に住む未就園の乳幼児とその保護者を対象に子育て支援活動を行っている。
2 皇學館大学	地域社会研究会	現代日本社会学部の学生による地域社会での研究活動を促進するため、商店街の活性化や地元産品を使った商品開発等を実施している。
3 皇學館大学	この子想いのサポートブックプロジェクト	障がい者(児)とのコミュニケーションの取り方等を、その保護者等の手により分かりやすくまとめた「サポートブック」を携帯型の冊子形式で作成している。学生が、障がい児をもつ母親、松阪市社会福祉協議会との連携により、学生のデザインを添えてカラフルに仕上げている。
4 皇學館大学	ビブロフィリア	ビブリオバトル(好きな本を持ち寄り、制限時間内でその本について語る、ゲーム感覚の書評合戦)を行うサークル。伊勢市新道商店街で行われた「商店街ビブリオバトル」のスタッフ活動等を通じて、県内の地域と連携している。
5 鈴鹿工業高等専門学校	すずかテラス	白子駅前センター商店街に「すずかテラス」を発足し、ブロックロボット教室、3Dペン体験教室などを実施している。
6 四日市大学	DiPO模擬会社 夢追プロモーション	ゼミ活動の中で、学生を社長とする模擬会社を設立。「まちを元気に」の理念を具現化するため、県内の様々な地域において企画に取り組んでいる。例えば、県内ロケを行う映画製作の後方支援や、地元産品業者とのコラボによる商品開発など。
7 三重短期大学	ボランティアサークル	津市への地域貢献を中心に据え、市内を中心にボランティア活動を展開している。2014年8月には、サークル主催のイベント「みえたんプレイパーク」を開催。特別支援学校等に通学していて夏休みに入っている子どもと、そのきょうだいや親の参加を得て、ゲーム等を展開した。
8 四日市看護医療大学	災害支援の会	自分の身の回りで震災が起こった際に、看護学生・看護師としての行動ができるよう、東日本大震災被災地等でのボランティアや学生ディスカッション等に参加している。
9 近畿大学工業高等専門学校	ボランティア・グループ Good job	有志によるボランティア活動から始まり、今は地域の人たちや福祉団体から依頼を受け、地元の祭りの盛り上げ等、様々な地域活動に参加している。
10 鈴鹿短期大学	スポーツ栄養サポート研究会 Grow up	地元スポーツ選手の競技成績の向上を通じて地域を元気にするため、社会人サッカーリーグに所属する選手達に栄養食事の大切さを伝える活動を実施している。
11 三重短期大学、三重大学	地域連携カフェ「café HONOBUNO」	学生による1日限定の地域連携カフェ「café HONOBUNO」の出店を、毎年12月に津市大門商店街において行っている。平成26年は12月20日に開催した。
12 三重大学、三重県立看護大学、鈴鹿医療科学大学	三重県学生献血推進連盟 みえっち	三重県在住の学生が献血推進に関わる機会を増やすため、献血キャンペーンなどを実施している。
13 鈴鹿工業高等専門学校	みえサイエンスネットワーク「サイエンスリーダー」	地域の未来を担う小学生・中学生に科学や技術に関心を持ってもらうため、科学教室での実験やイベントの企画提案や運営を行う。
14 三重大学	みえぬいぐるみ病院	ぬいぐるみを患者、子どもを付き添い役、学生を医療者に見立てた診察ごっこ遊びと、劇や紙芝居等を通じて、子どもに健康や身体に関する知識やよりよい生活習慣を身に付けてもらうための活動を行っている。

※参加申込書受付順。

※展示形式での発表のみを行うグループもあります。